不動産ビジネス専門家協会
PREB通信

第108回

変化の荒波を乗りこなす、不動産ビジネスの新たな羅針盤

リスキリングとeラーニング、そして助成金の活用

人手不足が大きな社会課題となる中、企業は先端技術の活用による業務の効率化を推進するとともに、人材教育にも力を入れている。この人材教育の場面でも、従来のような対面での座学ではなく、時間や場所を問わず効率よくスキルアップできる環境の提供が進む。

「変化こそ唯一の定数である」という言葉があります。現代社会は、まさにこの言葉を体現しているかのようです。AI、IoT、ランスフォーメーション）の波は押し寄せESG、そして予期せぬ社会情勢の変化。これらの要因が複雑に絡み合い、不動産業界もまた、かつてないほどの変革期を迎えています。このような時代において、企業が持続的な成長を遂げるためには、従業員の「リスキリング」が不可欠です。

リスキリングとは、従業員が新たなスキルを習得し、変化する市場や技術に対応できるようにするための学び直しを指します。それは、単に知識や技術を習得することに留まりません。

不動産業界においても、DX（デジタルトいます。AIを活用した不動産管理システムは、賃料設定や入居者管理を自動化し、業務効率を大幅に向上させます。しかし、そのシステムを使いこなすには、AIに関する知識やデータ分析のスキルが必要です。また、IoTを活用した建物診断は、建物の劣化状況をリアルタイムで把握し、修繕計画の最適化に役立ちます。しかし、センサーから得られるデータを分析し、適切な判断を下すには、専門的な知識が求められます。

さらに、VRを活用した物件内覧は、顧客に臨場感あふれる体験を提供し、成約率の向上に貢献します。しかし、VRコンテンツの制作や操作には、専門的なスキルが必要です。このように、DXの推進は、従業員のリスキリングと密接に関わっています。

また、ESG（環境・社会・ガバナンス）投資への関心の高まりは、不動産業界に新たな課題を突きつけています。環境に配慮した不動産管理や開発、地域社会への貢献、透明性の高い企業統治。この「助成金の活用」です。政府（厚生労働省）は、企業のリスキリングを支援するため、様々な助成金制度を用意しています。これらの助成金を活用することで、企業は従業員のリスキリングにかかる費用を大幅に軽減することができます。

不動産業界においても、eラーニングを活用したリスキリングと助成金の活用事例は増えています。

◆AIやIoTを活用した不動産管理システムの操作研修

◆ドローンによる建物診断や測量技術の研修

◆VRを活用した物件内覧やマーケティング研修

これらの研修は、従業員のスキルアップだけでなく、企業の競争力強化にも繋がります。

リスキリングという羅針盤と、助成金という追い風を手にした私たちは、その荒波を乗りこなし、新たな未来を切り開くことができるはずです。

逃せないのが「助成金

eラーニングのメリットは多岐にわたります。

◆時間と場所の柔軟性：いつでもどこでも、自分のペースで学習できます。

◆コスト削減：研修費用や移動時間を大幅に削減できます。

◆幅広い学習コンテンツ：最新の知識や技術を網羅した多様なコンテンツが利用可能です。

さらに、リスキリ

今月の筆者

●プロフィール

「研修獲得アカデミー」を開催し、提案書のブラッシュアップを通じて提案力を高める方法を指導。電子書籍『研修講師が企業から高単価の仕事を取れる「提案書」』はAmazonでベストセラー6冠獲得。

研修獲得コーチ（社会保険労務士）
オフィス・オークン 代表取締役
大塚　訓

コラムのご感想・ご意見は下記まで！

一般社団法人不動産ビジネス専門家協会
東京都千代田区神田東松下町28番地
小林ビル101　（☎03－3527－1876）
http://www.fudosan-pro.biz/